

令和4年度第2回 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和4年7月20日(水) (各委員に郵送又はFAXにて送付)	
参加者	議題
利用者 0名	(1) 入居者状況
利用者家族 9名	(2) 活動状況(5月、6月)
地域住民の代表者 2名	(3) 今後の予定(7月、8月)
市職員 1名	(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
はたやま地域包括支援センター職員 1名	(5) 身体拘束の適正化について
柘訪問看護ステーション 1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
みゆきファーマーシー薬剤師 1名	(7) その他
事業所 3名	
会議録	
<p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催を中止とし、各委員へ意見照会をしました。</p> <p>(1) 入居者状況 6月30日現在 9名(男性:3名、女性:6名) 要介護1:2名 要介護2:3名 要介護3:1名 要介護4:3名 要介護5:0名 平均要介護度 2.55 平均年齢 86.2歳</p> <p>(2) 活動状況(5月、6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦内科クリニック往診 5月16日(月)、6月13日(月) ・柘訪問看護ステーション訪問 5月10日(火)、24日(火)、31日(火) 17日(火)(訪問リハビリ) 6月7日(火)、21日(火)、29日(水) 16日(木)(訪問リハビリ) ・青木歯科往診 5月12日(木)、19日(木) 25日(水)(歯科衛生士) 6月2日(木)、16日(木) 22日(水)(歯科衛生士) ・みゆきファーマーシー訪問 毎週1回(居宅療養管理指導…薬セット管理) ・ハート治療院訪問 5月～週1～2回(希望者にマッサージ治療) ・訪問理美容 6月27日(月) <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会 5月26日(木) ・防災訓練 6月14日(火) <p>(3) 今後の予定(7月、8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 七夕会 ・8月 訪問理美容(8月22日)、夏祭り 	

(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

- ・苦情 0件
- ・事故 3件：5月中旬
- ・施設内敷地の外に出られた。
ベランダ(洗濯干し場)の窓から外に出て敷地内を歩いていたところを職員が気づき、一緒に施設に戻った。
- ・左腕皮膚剥離
口腔ケア終了後、洗面台に腕があたり皮膚を剥離し出血した。
- 6月初旬
- ・爪切りで出血
小指の爪を切ろうとして出血。
- ・ヒヤリハット 5件：5月中旬
- 5月中旬
- 薬の飲み忘れ
- 5月中旬
- 昼寝中、ベッド柵から両足を下ろし(床に足はついていない)、両手をサイドレールにかけ起き上がろうとされていた。
- 5月中旬
- 朝、義歯装着の忘れ
- 5月下旬
- 朝、口腔ケア後コップ内にハンドソープを入れようとした。
- 5月下旬
- 服薬セットの相違発見

(5) 身体拘束の適正化について

- ・身体拘束なし
- ・身体的拘束適正委員会
→「身体拘束」で行われるスリーロックとは
 - ① 物理的に拘束する「フィジカルロック」
 - ② 薬で制限する「ドラッグロック」
 - ③ 言葉で制限する「スピーチロック」
- ※上記の3つのスリーロックを周知し、毎日のケアをしながら大丈夫と思っていたことが身体拘束になりうるということを理解し、常にケアを見直し身体拘束にならないように気をつけていくことを話合いました。

(6) ご意見・要望・提案・助言

市職員から

◆「活動報告」について

6月14日(火)の防災訓練の内容、実施後の反省点等も教えてください。

→ 防災訓練の内容

「15:05 地震発生と同時に浴室から火災が発生」の想定で行いました。

流れとしましては 事前①警報装置の説明 ②通報訓練開始…消防署に模擬通報
地震発生、火災発生、スタッフ1名消防署に通報と同時に避難開始しました。

→実施後の反省点

当日は靴に履き替えて頂いたが、実際の火事だったら履き替える時間等はない。
いざとなった時、その場のスタッフで役割分担、司令塔などの役割を判断し機能できるようにしていかなければならない。互いに声を掛け合い訓練しながら行動することが重要だと再認識しました。

◆苦情・事故・ヒヤリハットについて

- ・事故の5月中旬の施設内離設ですが、ベランダ(洗濯干し場)から外に出てしまい、敷地内を一周回り、事業所の中に戻られたということですか。
通常は、ベランダ(洗濯干し場)から外に出られないようになっているのでしょうか。

敷地内から出られたわけではないようですが、なぜ、離設なのでしょう。

→ご指摘ありがとうございます。

敷地内を一周され事業所内に戻られましたが、建物から外に出られたことで離設と表現しました。

- 通常は、ベランダ干し場から外に出られないようになっているのでしょうか
→ベランダ干し場から外には出られます。日中かぎが掛かっていますが、自由に開けることが出来ます。念のためかぎを開け外に出られたときはセンサーが鳴るようになっております。この日は洗濯物を干した後、扉が開いていた為センサーが鳴らず、敷地内の外の出られたことに気が付きませんでした。
今後、離設の表現を改めます。
- 事故の6月の初旬の爪切りの出血ですが、ご利用者様自身が爪を切ろうとして、誤って、どこを切ってしまったことによる出血があったのでしょうか。
→はい。寝たきりの方の両手の爪をスタッフが切りました。左手小指の爪を切ろうとした時、少し動かれた為、指先が切れ出血しました。
- ヒヤリハットの5月中旬の薬の飲み忘れですが、ヒヤリハットではなく、事故ではないのでしょうか。その後は、どのような対応をされたのでしょうか。
→薬に関わることは事故に該当することをご指摘ありがとうございます。
上記の件に関しましては、後日発覚した為、介護記録、服薬情報を確認し、事故当日体調に変化がなかったことを確認しました。今後、薬に関わることは事故として報告いたします。

はたやま地域包括支援センターから

- 身体拘束等の適正化について日頃から色々と対策・対応ありがとうございます。
今後とも引き続き宜しく願います。
→ありがとうございます。今後も引き続き対策・対応を考えていきたいと思っております。

入居者ご家族様から

- いつもお世話になっております。ありがとうございます。
コロナ感染者の数がすごい事になっている中、スタッフの皆さんにはご苦労されていることと思います。本当にありがとうございます。
→ありがとうございます。

(7) その他

- 介護職員のPCR検査について
5月に2回、6月1回、計3回実施しました。検査結果は、全員陰性でした。

次回開催予定 令和4年9月16日(金) 14:00~